
過去の思い出、今の大切

断耶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

過去の思い出、今の大切

【Nコード】

N9427R

【作者名】

断耶

【あらすじ】

昔、高校生の時に監禁された二人の生徒の話

自分の為に歌を作ってくれたあの人……………今はどこにいるの
だろう……

主人公の性別はどっち！？

(前書き)

えと、はい

まだ朱雀・・・あれ？断耶だっけ？位の中途半端な時期に書いたものなので・・・期待は、しないでね？

うん、あんまし叩かないでくれると嬉しいですね

「○○高校、廃校、ね」

ここが廃校になって、もう一年たった

廃校になった理由は一つ、教師による生徒の監禁

俺は門をくぐり、校舎にはいる

入った目の前には下駄箱、まあ今は関係の無いことだ近くの階段を上り、二階の端、そこが監禁されていた生徒二人が最後にいた学校
の場所

「うわ、放置かよ・・・」

中は前に来た時と変わらない、カセットデッキがあり、ビデオデッキ、スキャナー、プリンター、テレビもある

「いらぬものばかり置いてったんだろうな」

まだ使えそうな物はない、前に見た時にはあったから、使えんと思
った物だけ持って行ったって所だろう、事務員辺りか？『アレ』が
やりそうな事だからな、何でも貰えるものがあれば何でも貰う、そ
こに「この事を言うな」と言う制限があれば何時までも黙り、代
わりに金を貰う

それが『アレ』のやり方だ

「・・・・止めた、考えただけで虫酸が走る」

『アレ』には嫌な思い出しかない、思い出す価値もない
そんな事はどうでも良い

ここにはある物を探しに来たのだから
部屋の棚を探す、ない

棚の下を見る、ない
部屋の床を探す、ない
部屋の隅を見る、ない

「・・・この中のどれかに入ってるかも」

探しているのはカセットテープ、あるとしたらこの部屋のデッキの中だろう、しかし

「いくつあるんだろ・・・」

部屋の中にはデッキばかりが置いてある、全てを調べるのは骨が折れる作業だれう、それでも・・・

「・・・やろう」

それでも見つけたい、その気持ちだけで探す、中に入っているのは歌、知る人は少ない、いや、2人しかいない、それは、監禁されていた男子生徒が監禁されていた女子生徒に歌った曲、即興で作ったかもしれないが、天使の歌にも聞こえた曲、あの日、ここに監禁された日に歌い、録音し、約束した

「ここを出たら、もう一回歌おう、一緒に、最後まで創って」

その時に忘れないように、録音し、そのまま置いていつてしまった、持っていきたかった、しかし、いつの間にか移動していたため、持ってこれなかった

「・・・ない」

ここに無いとすると、持っていかれたデッキに入っていた可能性が高い、そうだとしたら、見つかる可能性は零に近い

「・・・・・・・・それでも」

見つからなくてもいい、いや、良くはない、でも見つからないなら、もう少し位探していたい、ここには記憶が、思い出がある、短い間しかないなかったけど、一番大事な思い出がある

幾らでも見つかる思い出の後、一つ一つを見て回る、何処にあるかも全て覚えてる

「そろそろ、帰るか」

全てを見終わると、もう夕焼けを見るには少し遅い時間、結局、何処にも見つからず、諦めるしかない、そう思い、部屋を出ようとすると

『貴方は、何処にいゝるの』

「っ!？」

不意ににスピーカーから流れてきた音楽、それは歌しくなく、アカペラの曲

『貴方は、何処に行ゝくの』

「・・・・放送室!」

走る、放送室に向かって一心不乱に、それでも、曲をききながら

『その翼、羽ばたき、何処までも』

この歌、この歌こそが探していた曲、みんなからしたら下手かもしれない

それでも良い、この曲は一人のために歌われたのだから

『私は、貴方に憧れる、貴方のように、自由な翼を』

「・・・はあ・・・はあ・・・っ・・・はあ・・・
よし」

走って崩れた呼吸を整える、この先にはどちらがあるのだろう、あの子がいる？知らない誰かがいる？

『~~~~~』 「・・・」

曲はもう終わる、まだ決まっていなかった所、鼻歌でリズムだけをとっていた所、自分も心を決めよう
思いっきり、扉を開ける、その先には・・・

「会いたかったよ、××」

その日、廃校になった校舎の屋上に二つの影が見えたらしい

(後書き)

さて、どうでした？

あんまり良くないよね

え？好くない？・・・すいません

まあ、うん、暇潰し程度になれば良いんじゃないかな？

ては！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9427r/>

過去の思い出、今の大切

2011年10月8日02時17分発行